



校長室だより

令和6年度
12月20日
NO.39

1年の終わりに振り返り、見つめなおし、改善する。



保健室で、「命」を見る。「命」を知る。



4年生「マイホタル」
秦梨小の空に舞うよう、願いを込めて……



5.6年「山の仕事の会」
年末の「ふるさと学習」



河合中の裏山に散り積もった黄金の落ち葉の上に、コナラの木が倒れる様子に、子供たちは釘付けになりました。年末のせわしい中ですが、土砂災害時避難訓練と山の仕事の会が十八日に行われ、五、六年生が河合中学校に行きました。一月の炭焼きと椎茸の菌うちの木を運びます。年末の「ふるさと学習」の二コマです。

四年生前の廊下には、四年が世話をするホタルの幼虫とカワニナが静かな時が刻んでいます。また、保健室前では、養護の増田先生のお腹の中の、着実に進む命の営みが見られます。どこか、十二月というと一年の終わりというイメージがありますが、学校生活や秦梨の自然、人の命の営みはずっと続いています。

けれど、十二月は一年を振り返る時期でもあります。そして、迎える一年の始まりの、準備の時期でもあります。秦梨小でもこの一年、たくさんの子供の成長の姿がありました。現在まで続く様々な活動のその時々で、本当に子供の力の大きさを感じられる場面も多く見られました。うれしいことです。逆に、心配な点については、これから先に向けて、準備をしていきます。先生たちは学期ごとに「校内支援委員会」という会を開き、それぞれの子供たちにどう支援していったらよいか話し合います。こうした年の終わりや始めは、いわば改善の時期ともいえるでしょう。

「カイゼン」といえばトヨタが有名ですが、一般的に目標の達成に向けて、業務プロセスを最適にすることを指します。反省という、人は物事に対して悪い結果だけを見て、人を批判したり自分を責めたりします。けれど、一年の終わりの十二月、学校で子供たちには、これまでを振り返り、「できたこと・わかったこと・楽しかったこと」を心に積み重ね、目標を達成できていないことについては、嘆くのではなく、目標を見直したり、どうしたらいいのか「カイゼン」したりする時にしてほしいものです。

○学校評価アンケートへのご協力、お願いします。結果については、3学期に「校長室だより」でお知らせいたします。1年間(2学期間)ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。
○前回の「校長室だより」の「学習環境委員」は「健康委員」の誤りでした。すみませんでした。